【対話の結果概要（令和2年9月30日更新）】

１．参加団体数

　　現地説明会　 ８団体

　対話　 　　　11団体

２．対話実施団体の主な業種

　　施設管理・運営・コンサルティング事業関係

イベント企画・運営事業関係

メディア・広告事業関係

デジタルシステムの運用事業関係

３．主な提案内容

　　◆府立の文化施設として府民等から求められるenocoの姿について

　　　・アーティストやクリエイターの支援拠点

　　　・府民の創造活動拠点

　　　・文化芸術の情報発信拠点

　　　・地域共創、地域支援の拠点

　　◆施設規模等を加味し、enocoが提供でき得るサービスの可能性について

　　　・所蔵作品等を活用した展示イベントの常時開催による府民のための美術館機能

　　　・子どもや芸術分野での活用をめざす学生等への支援等

　　　・アート思考等文化芸術の要素を取り入れた大人向けの研修事業者等との連携

　　　・アーティストへの活動（制作、発表、販売等）の場の提供

　　◆enocoの認知度向上に向けた取組みについて

　　　・明確なイメージ設定とわかりやすい発信

　　　・定期的なイベント実施やキーパーソンの誘致

　　　・建築物自体を活用した広報

　　◆大阪府20世紀美術コレクションの更なる活用方策や今後の新たな展開について

　　　・コレクションの人気投票やカテゴライズ

　　　・パッケージ化やツールの整理による貸出の営業強化

　　　・アーカイブのデジタル化とその活用

４．今後の対応

　　今後のｅｎｏｃｏの更なる発展と大阪府20世紀美術コレクションの活用の観点から、本調査の結果を踏まえ、指定管理の業務内容や公募条件等について幅広く検討を進めます。